



ダイバーシティ・サティフィケート

受講の手引き

(2021 年度用)

## 目次

1. 「ダイバーシティ・サティフィケート」とは	P 2
2. 対象および取得要件について	P 3
3. ダイバーシティオンライン解説動画について	P 3
4. プログラム紹介	P 3
5. サティフィケート申請について	P 6
6. 問い合わせ	P 6

### 1. 「ダイバーシティ・サティフィケート」とは

「ダイバーシティ」は人材の多様性を意味し、ダイバーシティの実現とは、社会の価値観が多様であることを認識し、個々人の個性や価値観を尊重する社会を実現することである。変動が激しく先が見通しにくい現代社会そして将来において、私たちが直面する社会課題は複雑になっており、この課題解決には多様な視点や発想が不可欠になっている。社会が多様性を重視しているのは、従来の延長上では解決できない課題解決において複眼的なアプローチが有効と考えられるからである。

このような時代を長期的視野に立って生き抜くために、法政大学は個人の多様性を尊重することを「ダイバーシティ宣言」において明確にした。「宣言」では、「人権の尊重、多様性の受容、機会の保障を基盤にして、さまざまな国籍と文化的背景を持つ学生、教職員を積極的に受け入れ、自由を生き抜く実践知を世界に広げていくことができるよう、教育と研究を充実させていきます」として、ダイバーシティの実現に向けて積極的に取り組むことを明確にしている。

本学で開講する「ダイバーシティ・サティフィケート」では、多様性とは何か、なぜ多様性が重視される社会構造になっているのかについての理解を基礎に置き、そのような社会に生きる上で、個人にはどのような能力やマインドセットが求められるのかを考えることとしたい。多様性を尊重する社会の一員として、またそうした社会を実現するために、自分は何ができるのか・何をすべきなのかを主体的に考えることができるようにすることを目指している。

## 2. 対象および取得要件について

### (1) 対象

法政大学の全学部生

### (2) 取得要件

以下の①～④の要件を全て満たすこと。

①履修開始前に「ダイバーシティオンライン解説動画」を視聴すること。

②領域 A から 4 単位以上修得すること

③領域 B から 4 単位以上修得すること

④領域 A・領域 B の中から合計 12 単位以上を修得すること

※領域 A・B については「4. プログラム紹介」を参照すること。

### (3) 注意事項

修得した単位は、2020年度既修得単位から有効である。一度修得した単位は、卒業まで有効である。ただし、年度ごとに科目の変更があり得るため、毎年度科目一覧を確認すること。

## 3. ダイバーシティオンライン解説動画について

ダイバーシティオンライン解説動画では、ダイバーシティの概要について、および本プログラムの全体像を解説している。受講開始前に視聴することが望ましい。以下の URL もしくは QR コードから LMS (ラーニングマネジメントシステム) にアクセスし、動画を視聴すること。

URL : <https://lms.hosei.ac.jp/>

QR コード :



## 4. プログラム紹介

本プログラムは大別して 2 つの領域 A, B からなり、各領域には小領域として 5 つの科目群を置いている。各科目群における学習の方向性とサティフィケート取得のための履修要件を以下に示す。本サティフィケートを履修する学生は、自分が学びたい内容に合わせて科目を選択し、学んだことを体系の中に自ら位置づけていくことが求められる。

## 領域A 「ダイバーシティ理解」

多様性とは何か、なぜ個々人の違いや多様性が重視されているのか、について広範囲の角度から理解を深める。多様性をとらえる視点そのものが多様であること、さらに自分は多様性と共存する社会に生きていることを理解するための領域である。

### A-1 「個人と社会の多様性」科目群

ダイバーシティを実現するための基本は、そもそも個人は一人一人個性的で多様性に富む存在であるということから始まる。人権の尊重はその第一歩であるが、さらに多様な個人が社会の多様性を生むことが期待され、それが複雑な社会課題への対応において重視されるようになってきている。持続可能な社会を実現するために、多様性を尊重し多様性を活かすことが不可欠になっていることについて学習する。なおここでは、生態系などに関する自然理解も含まれている。

### A-2 「多文化・異文化理解」科目群

グローバル化が急速に進展しており、多様な価値観と共生して生きることが求められている。こうした状況を踏まえ、社会の多様性をとらえるにあたり、民族、宗教、歴史等の多様性から生じている「文化」の多様性や、異なる「文化」を持つ集団や個人についての理解を深める。多様性を尊重する状況とは逆の、格差・ナショナリズム・地域間紛争などの問題を考えることで、あらためて多様性と共生の重要性についても学習する。

### A-3 「グローバル化と日本」科目群

多くの学生は日本社会で生活しているが、日本の社会というものをグローバル化の視点からとらえ直すと、日本の中に多様性に関連する現状・課題が存在している。在日の外国人はその典型例である。また、日本の経済は、世界の国々と相互依存を強めながら発展してきている。日本の中にある多様性に関わる状況を、国際的な視点から相対化して学習する。

## 領域B 「インクルージョンへの課題」

「インクルージョン」とは、多様性を理解し受容することである。個々人の多様性が社会のあらゆる場面で受け入れられるとともに個々の能力が発揮されることは、持続可能な社会のためには不可欠であり、そのためには多様性を理解し受容する社会の構造や個人の行動が重要となる。「インクルージョン」の視点から現状や課題を分析し、インクルーシブな社会を実現するための社会システムや対応について理解する。

### B-1 「マイノリティと不平等」科目群

多様性を受容してインクルーシブな社会へと転換するためには、その前提としていわゆる「マイノリティ」が抱える課題を理解する必要がある。ジェンダー、人種、国籍などの観点から「マイノリティ」と考えられる人々が置かれている状況、不平等を生む構造やそれによる課題について学習する。

## B-2 「インクルーシブなシステム」科目群

マイノリティを含めて多様な人材が社会の中で能力を発揮することができる「インクルーシブ」な社会の実現のためには、社会として何か必要なのかを考えなくてはならない。ダイバーシティ実現の観点からこれまでの社会のシステムや構造について考察し、ダイバーシティ実現のために必要な社会制度や企業等の組織対応などを理解するとともに、個々人に求められる行動や意識について考察する。

### プログラム構成表

領域	科目群	必要単位数	
領域A 「ダイバーシティ理解」	A-1 「個人と社会の多様性」	4 単位以上	12 単位以上
	A-2 「多文化・異文化理解」		
	A-3 「グローバル化と日本」		
領域B 「インクルージョン への課題」	B-1 「マイノリティと不平等」	4 単位以上	
	B-2 「インクルーシブなシステム」		

※プログラム構成科目については「ダイバーシティ・サティフィケート科目構成表」を確認すること。

## 5. サティフィケート申請について

取得要件を満たした者は、申請期間内に以下の申請フォームから申請することによって、ダイバーシティ・サティフィケートを取得することができる。

### (1) 申請フォーム

URL : <https://forms.gle/tdmNLdf7B5kZovd57>

QR コード :



### (2) 申請期間

春学期：秋学期成績発表日～4月30日

秋学期：10月1日～10月31日

## 6. 問い合わせ

本プログラムに関する質問等は、  
以下に問い合わせすること。

法政大学総長室付教学企画室

Tel : 03-3264-9931

Email : [kyogaku@hosei.ac.jp](mailto:kyogaku@hosei.ac.jp)

